

平成19年度 事務事業評価表

担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	1111
事務事業名	大型物件リース事業	事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)
根拠法令等		Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	競艇事業運営のため必要な大型映像装置、投票設備等の多額の資金を要する物件を
手段	競艇関連団体が実施しているリース制度を利用することにより整備し
想定する成果	競艇事業の経営健全化を図る

事業の概要

項目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
三連勝式投票設備	63,373千円	42,249千円(リース満了)	
投票システム	429,434千円(リース満了)		
自動販売機(77台)	119,130千円	119,130千円	69,493(リース満了予定)
中央監視装置	18,261千円	18,261千円	18,261千円
自動販売機(自販機53台等)	32,530千円	78,073千円	78,073千円
大型映像装置(更新)	9,721千円	58,325千円	58,325千円

成果指標

成果指標名	事業返済率(平成18年度~平成23年度)
成果指標の説明	リース返済総額/総返済額×100%

事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別 会計)

(単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		42.30%				34.50%				37.30%			
成果指標													
事業費	事業費	672,449				316,038				224,152			
	人件費	2,335				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	674,784				318,381				226,506			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	674,784				318,381				226,506			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	単年度で高額となる負担額が平準化されている。
経済効率性	2	2	2	2	業界関係者が行っているリース事業で、リース期間満了後は、所有権が市へ移転するので効率的である。
事務効率性	3	3	2	2	リース物件の機種選定や価格決定は、市が行うことになっており、その事務とリース申込みの作業はあるが、概ねスムーズである。
必要性	3	3	3	3	大型映像装置等の多額の資金を要する機器を整備するためには、このリース事業を活用することは必要である。
小計	11	11	10	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	中長期的な運営コストを算出することで、安定的な経営が可能となる。
合計	14	11	13	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	売上向上とファンサービスのため、リース事業を利用し大型映像装置等を整備してきたが、今後も多額の資金を要する機器等の整備については、単年度収支を考えてこの事業を活用する必要がある。
------	---	---	---	---	-------------------------------------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
今後もリース事業を利用して機器等を整備する場合は、設計金額等を精査し入札等による価格の決定を行い、より一層リース料を抑えるように努める。
上記改善点の実施状況
業界関係者が行っているリース事業のため、物件価格の決定は市に委ねられているので、設計金額についてはより精査した上で価格決定を行った。

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

